

平成29年度地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金
(エネルギーシステム構築事業) 採択結果 (二次締切分) について

平成29年8月9日

採択結果について

評価委員会での審議に基づいて厳正な審査を行い、以下の事業について採択が決定しました(採択決定日:平成29年8月9日)。

なお、今後の参考として、採択された案件で評価の高かった項目および不採択となった案件で評価の低かった項目に関する委員会からのコメントについても別紙に掲載しておりますので、ご参照ください。

平成29年度地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金 (エネルギーシステム構築事業)
採択者一覧 (二次締切分)

採択事業者	申請地域	補助事業の名称
八千代エンジニアリング株式会社 宇都宮市	栃木県宇都宮市	地下貯留水を活用した大谷地区における熱の供給事業
虎ノ門エネルギーネットワーク 株式会社	東京都港区	事務所・商業・公共空間・住宅への複数再エネおよび±DR等の高度なエネマネを導入した電力・熱融通型 特電・DHC事業
パナホーム株式会社 株式会社エナリス 興銀リース株式会社 兵庫県企業庁	兵庫県芦屋市	平成29年度潮芦屋再生可能エネルギー面的利用事業化申請
ひおき地域エネルギー株式会社 日置市	鹿児島県日置市	日置市における地産地消型エネルギー利用のためのコンパクトネットワーク構築事業

以上 4件

＜参考＞

1. 評価の高かった案件に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー量、省エネルギー率、省CO₂について優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ量、省エネ率、省CO₂率が高い。 ・未利用エネルギーの有効利用として評価できる。 ・太陽光発電システムで大きな省エネが図れている。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に成立する運用を継続できること。 ・費用対効果、投資回収年数が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続できる投資回収年数である。
先導性・新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域への普及に向けた先導性があり、得られる成果が今後の指針となるものや、幅広い成果の活用が期待されること。 ・他事業において類似の事例がない若しくは少なく、分散型エネルギーの地産地消等の課題を解決するための優れた特性を有するものであること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニグリッド間、異なる地域を統合的に管理するEMS制御は評価できる。 ・大規模蓄熱による±DR対応制御が、他のシステムの参考になる。 ・住宅エリア内の分散電源をEMS制御しており、他への展開可能性が高い。 ・地域の特性を活かした内容である。
災害等リスク対応	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の事業継続性（BCP等）を想定する場合は、非常時のエネルギー供給について検討していること。 ・補助事業のサイバーセキュリティについて検討していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・供給源を複数持つことで、多面的な対応が計画されている。 ・複数システムのシステムで災害時の対応が図られている。 ・非常時も住宅は個別に電源維持できる。
その他特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における経済の発展、雇用の創出、生活の豊かさの向上に資する等、地域に密着した事業であること。 ・再生可能エネルギーの面的利用について内容が優れていること。 ・その他特筆すべき事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に役立ち、エネルギー自給の例として期待できる。 ・需給間でのDR導入によって、負荷の平準化が図られている。 ・地域の上位計画との連携、マイクログリッドシステムの水平展開の推進が認められる。 ・自然エネルギーの有効活用例として評価できる。

2. 評価の低かった案件に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー量、省エネルギー率、省CO₂について優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ効果が少ない。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に成立する運用を継続できること。 ・費用対効果、投資回収年数が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資回収は良いが、一事業者の設備導入に近い。 ・投資回収年数が非常に長く、経済性が低い。
先導性・新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域への普及に向けた先導性があり、得られる成果が今後の指針となるものや、幅広い成果の活用が期待されること。 ・他事業において類似の事例がない若しくは少なく、分散型エネルギーの地産地消等の課題を解決するための優れた特性を有するものであること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業構想は工場内での省エネ対策に過ぎない。 ・バイオマスボイラーによる熱の供給のみで特に先導性なし。 ・単なる一般廃棄物処理施設の廃熱利用は普及済の認識。 ・通常の産業用コージェネ導入とほぼ同じ。
その他特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における経済の発展、雇用の創出、生活の豊かさの向上に資する等、地域に密着した事業であること。 ・再生可能エネルギーの面的利用について内容が優れていること。 ・その他特筆すべき事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数設備による面的利用、地産地消、最適制御の観点がない。 ・コージェネ導入のみで補助事業として疑問がある。

以上